

AWS 認定データベース — 専門知識

AWS Certified Database - Specialty

(DBS-C01) 試験ガイド

はじめに

「AWS 認定データベース — 専門知識」(DBS-C01) 試験は、データベースロールを遂行する人を対象としています。この試験では、データベースに関する全体的な理解度 (例: 設計、移行、展開、アクセス、保守、自動化、監視、セキュリティ保護、トラブルシューティング) を評価します。

この試験で評価する能力は次のとおりです。

- AWS データベースサービスの主な特徴について明確に理解する。
- ニーズと要件を分析し、AWS サービスを使用した適切なデータベースソリューションを設計および提案する。

推奨される AWS の知識

- 一般的なデータベーステクノロジーを使用した 5 年以上の経験。
- AWS に関する 2 年以上の実務経験。
- オンプレミス環境および AWS クラウド環境のリレーショナルデータベースおよび NoSQL データベースに関する経験および専門知識。

試験内容

回答タイプ

試験の質問には以下の 2 種類があります。

- **択一選択問題:** 選択肢には 1 つの正解と 3 つの不正解 (誤答) があります。
- **複数選択問題:** 5 つ以上の選択肢の中に 2 つ以上の正解があります。

文章に最もよく当てはまるもの、または質問の回答となるものを 1 つ以上選択します。不正解の選択肢は、知識やスキルが不十分な受験者が間違えやすいもので構成されています。多くの場合、試験の目的に応じた出題分野に当てはまる、もっともらしい回答になっています。

回答しなかった場合は不正解とされるため、推測でも答える方が有利です。

採点対象外の内容

試験には、採点の対象にはならない項目が含まれる場合があります。これは統計的な情報を集めるために試験に組み込まれています。フォーム上でこれらの項目を区別することはできませんが、スコアに影響を与えることもありません。

試験の結果

「AWS 認定データベース – 専門知識」(DBS-C01) 試験の結果は、合格または不合格のいずれかになります。試験は、認定業界のベストプラクティスとガイドラインに従って、AWS プロフェッショナルにより設定された最低基準に達しているかどうかに応じて採点されます。

試験結果は 100 ~ 1,000 点の範囲のスコアでレポートされます。最低合格スコアは 750 点です。スコアによって、試験での全体的な成績と合否がわかります。スケールドスコアモデルは、難易度にわずかな違いのある複数の試験形式のスコアを平均化するために使用されます。

スコアレポートには各セクションレベルでの成績の等級表が掲載されています。この情報は、試験成績に関する全体的なフィードバックを提供することを目的として設計されています。試験では補填形式のスコアモデルが使用されるため、個別のセクションごとに「合格」する必要はなく、試験全体で合格することのみが求められます。試験の各セクションには特定の重み付けがされているため、一部のセクションでは質問数が他のセクションよりも多くなっています。表には、長所と弱点を示す総合的な情報が含まれています。セクションレベルのフィードバックは慎重に解釈するようにしてください。

試験内容の概要

この試験ガイドには、比重、出題分野、および試験の目的のみが記載されています。試験の出題内容全体を記載しているわけではありません。出題分野と比重を以下の表に示します。

分野	試験における比重
分野 1: ワークロード固有のデータベース設計	26%
分野 2: 展開および移行	20%
分野 3: 管理および運用	18%
分野 4: 監視およびトラブルシューティング	18%
分野 5: データベースセキュリティ	18%
合計	100%

分野 1: ワークロード固有のデータベース設計

- 1.1 個々のデータタイプおよびワークロードタイプに適したデータベースサービスを選択する。
- 1.2 ディザスタリカバリ戦略および高可用性戦略を策定する。

1.3 パフォーマンス、適合性、および拡張性を高めるためのデータベースソリューションを設計する。

1.4 データベースソリューション間のコストを比較する。

分野 2: 展開および移行

2.1 データベースソリューション展開プロセスを自動化する。

2.2 データ準備戦略およびデータ移行戦略を策定する。

2.3 データ移行プロセスを実行および検証する。

分野 3: 管理および運用

3.1 保守タスクおよび保守プロセスの内容を決める。

3.2 バックアップ/復元戦略を策定する。

3.3 データベースソリューションの運用環境を管理する。

分野 4: 監視およびトラブルシューティング

4.1 監視戦略およびアラート戦略を策定する。

4.2 一般的なデータベース問題をトラブルシューティングして解決する。

4.3 データベースのパフォーマンスを最適化する。

分野 5: データベース セキュリティ

5.1 格納データおよび送信中データを暗号化する。

5.2 監査ソリューションを評価する。

5.3 アクセス制御のメカニズムおよび認証メカニズムを決める。

5.4 データベースソリューション内の潜在的なセキュリティ脆弱性を認識する。